

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果(中学校)

おい町 教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	大飯	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	ICTを使い、正しい動作や自己の動作などを観ることで「わかる」授業を毎学期1回は行う。	器械運動や陸上などで実施することができた。動画で見本を観たり、ワークシートに写真でポイントを示したりすることで、自分たちで取り組みやすくなったようである。動画は、見本を繰り返し見ることができ効果的であった。
2	名田庄	中学校	児童生徒の運動習慣の育成について	球技学習(ソフトボール)において、「できる、できない」といった技能の指導に重点を置くのではなく、体育の見方・考え方を働かせながら楽しく学ぶ授業づくりを目指す。 【展開】 ①ゲームのルールづくり ②技能取得(ICTや野球部員をコーチ役として活用) ③ゲームを通して学ぶ	ゲームのルールづくりから取り組むことで見通しをもつことができ、意欲的に活動する生徒が増えた。また、ルールを工夫することで、個々の技能に合わせた、個別最適な学びにつながった。1・2年生のソフトボールの授業では、「ソフトボールの授業が楽しかった」と答える生徒が9割いた。また、「次は外でやりましょう」「T台を無くしてトスにしましょう」と次年度の活動に向けて意欲を見せる生徒もいた。